


# 教材紹介

<p>【タイトル】</p> <p>ちいちゃんのかげおくり</p>	
<p>【教科・領域】</p> <p>国 語</p>	
<p>【保管棚番号】</p> <p>1 3</p>	
<p>【バーコード番号】</p> <p>1 0 1 5 7 1 a 1 0 1 5 7 1 a</p>	

【内容の概略】 < 3年の教科書に載っていますが。 >

- お父さんが出生する前の日、ちいちゃんとおにいさんは、お父さんお母さんとお墓参りにきた。その帰り、よく晴れた空を見たお父さんが、ちいちゃんとおにいさんに「かげおくり」を教えてくれた。さっそく家族4人で楽しむが、それが最後の記念撮影になろうとは…。
- 空襲が始まり、町中火事になって命からがらに逃げる3人。ちいちゃんは、お母さんとお兄さんとはぐれて一人になってしまうが、おじさんに助けられ、橋の下で集まった見知らぬ人たちと一夜を過ごす。
- 家の近くのおばさんに会って、焼け焦げた家の後に連れて行ってもらうちいちゃん。必ず帰ってくると信じて、その場に一人残る。近くの防空壕で、少しばかりの干し飯を食べながらお母さん達が帰ってくるのをまつ。
- 空腹と疲れで夢と現実が一緒になったちいちゃん。ふらふらと防空壕を出て、一人でかげ送りをする。「とお」数えて見上げると、笑顔の家族のかげが大空に映るが、同時にちいちゃんは短い生涯を閉じてしまう。

【感想・児童の声】

- 特別支援学級（知的）の全員での学習として扱った。

- ビデオを見て内容を確認めた1時間目。よく集中してみることができ、ビデオを見終えて作品の内容を確認める場面でも、ビデオのキャプチャーを印刷して見せることで、容易に場面を思い出し、全員で流れを確認することができた。
- 2時間目、3時間目は、「ちいちゃんのかげをかんがえよう」という課題で取り組んだ。始まる前は「またみるのー？」といやがる子どももいたが、ビデオが始まると集中してみる事ができた。大きなまとまりごとにビデオを止めて、ちいちゃんの気持ちを聞いた。すると、ちいちゃんのかげにより添い、「かなしかった。」などの意見が出て、またどうしてそう思ったのだろうかという教師の問いかけにも、みんなで考え合うことができた。
- 授業を終えた子ども達は、次は何見るの？と楽しみにしているようだった。これまで個別の学習をしてきた子ども達には、全体学習としてのビデオ視聴は、かかわり合っで学習する楽しさがあり、また通常の文字から入る国語とはちがって、直ぐに作品の世界には入れたようだった。

